

令和2年度 学校自己評価表（計画）

学校運営実施報告				
学校運営方針		教育目標である「自主自律の精神を持った個性豊かな人間形成」の実現に向けて、次の3点を柱として計画を進める。 ○基礎・基本を重視し、進路実現の基盤となる学力の育成 ○豊かな「教養、人間性、社会性」を育てる全人的教育の実践 ○自己と地域、社会との関わりを見つめ「よりよい生き方」を探求する、キャリア教育の推進		
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標		
<b>【成果】</b> ○地域の教育資源を活用した様々な授業実践を行い、中高連携による授業改善や市内中学校への出前授業も実施した。 ○インターンシップやデュアルシステム、中高連携キャリア教育事業等の取組を通して、地域と連携した人材育成を推し進めた。 ○いじめ対応も含め、組織的に協力しながら、多様な生徒に対応することができた。 <b>【課題】</b> ●キャリア教育と教科指導の充実を図り、それぞれの進路に応じた選択ができるよう、工夫していく必要がある。 ●部活動や生徒会活動においても地域と連携した取組の中で、豊かな人間性や社会性のより一層の充実を図る。 ●学校からの情報発信を積極的に行っていく。	本校の特色及び取り組みを生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善、基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進する。	・生徒の個性を生かせる教育課程の編成 ・学習指導体制の工夫、改善 ・基礎学力の伸長、定着 ・新学習指導要領に伴う教育課程の編成 ・観点別評価に伴う授業改善及び学習指導要録の検討		
	規律ある学校生活の中で基本的な生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図る。	・基本的生活習慣の確立のための指導の充実 ・健康管理・教育の充実 ・防災・安全指導の徹底 ・環境衛生の維持及び整備		
	生徒一人ひとりの良さや可能性を伸ばし、自立した社会生活を営むことができる力を育てるとともに、生徒の自己実現を図る。	・効果的な進路指導計画の作成と実践 ・進路指導関係資料のより一層の整備 活用 ・組織的な指導体制の確立 ・部活動の活性化 ・特色ある生徒会行事の計画と実		
	地域・保護者との連携を強化し、信頼され愛される学校を目指す。	・人権・同和教育および男女平等教育 推進のための研修の実施 ・情報の発信 ・PTA活動の活性化 ・交通安全教育の推進		
	教員の働き方に関する観点から意識改革を図るとともに、全職員が一致協力して取り組む学校運営を推進する。	・学校業務の見直しや効率化 ・在校時間の管理及び健康管理 ・教員間の共通理解と協力体制の推進 ・情報機器の操作技術向上		
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
本校の特色及び取り組みを生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善、基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進する。	生徒の個性を生かせる教育課程の編成	生徒の個性の伸長と進路希望の実現を図るため、系列(種類別科目群)を設ける。		
		生徒の多様な進路希望に対応するとともに興味・関心を充足させるため、多種の選択科目授業を設ける。		
	学習指導体制の工夫、改善	生徒の授業態度、内容から職員全体の問題意識の統一を図り、指導方法の改善につなげる。		
		教育目標実現のための月間短期目標を設定し、生徒・教職員ともにその実現に努める。		
		遅刻者に対する指導を徹底し、チャイムと同時に授業を始められるなど、規律ある行動、学習習慣を身に付けさせる。		

	基礎学力の伸長、 定着	基礎基本を重視した教科指導に努める。 年間の考査実施計画を作成し、効果的・効率的平常授業の充実を図る。				
	新学習指導要領 に伴う教育課程 の編成	多様な進路希望に対応する選択科目を設けるとともに、学習の継続性に配慮し、主体的・対話的で深い学びが実践できるような基礎基本を重視した教育課程を編成する。				
	観点別評価に伴 う授業改善及び 学習指導要録の 検討	新学習指導要領の主旨をふまえ、高内研修会等を実施し、先進的な事例に学ぶとともに、お互いの授業を検証し、学習指導要録の検討をすすめる。				
規律ある学校生 活の中で基本的 な生活習慣を確 立し、時代の変 化に対応できる 能力の向上を図 る。	基本的生活習慣 の確立のための 指導の充実	挨拶の励行、礼儀作法の指導に努める。 一人ひとりを大切にする気持ちを身に付けさせ、いじめを見逃さない心を育てる。 本校生徒としての誇りと自覚を持たせ、校則を遵守するよう指導する。				
		健康管理・教育の 充実	心身の健康生活実現のために、問題解決能力を育てる。 性について学年毎に講演会を実施し、適切な行動選択がとれる生徒の育成に努める。			
		防災・安全指導の 徹底	避難体制を確立し、避難訓練等を実施するとともに、防災意識を高め、緊急事態に適切かつ迅速な行動がとれるよう指導する。			
	環境衛生の維持 及び整備	校舎内外の清掃・美化等の計画を立て、その指導を通して、環境に対する意識の高揚を図る。 環境衛生検査を通して、維持、整備、改善に努める。				
	生徒一人ひとり の良さや可能性 を伸ばし、自立し た社会生活を営 むことができる 力を育てるとと もに、生徒の自己 実現を図る。	効果的な進路指 導計画の作成と 実践	進路を意識した学習態度の早期育成と高揚に努める。 進学・就職のための補習や模擬試験の充実を図る。			
進路指導関係資 料のより一層の 整備・活用			進路指導資料『路』の充実と活用を図る。 進路指導室・進路資料室・廊下掲示板等の整備・活用を図る。			
組織的な指導体 制の確立		進路指導部の持つ調査結果等のデータを公開し、より活用しやすい情報提供により、学年や教科との連携を深める。 業務内容や担当者を明確にし、相互支援体制を組んで指導に当たる。				
		部活動の活性化	活性化のために部活動の活動状況や成果を広く伝えるなど取り組みやすい環境づくりをする。			
特色ある生徒会 行事の計画 と実行		生徒会行事について反省を踏まえ、内容の充実及び改善に努める。				

地域・保護者との連携を図り、信頼され愛される学校を目指す。	人権・同和教育および男女平等教育推進のための研修の実施	差別のない社会を実現するため、教職員の研修の充実を図る。  教職員研修の成果を生徒に還元する。			
	情報の発信	家庭通信の発行、ホームページの運営、研究・研修の成果の発表、体験入学の開催等を通して、学校と家庭・地域との連携を図るとともに情報を発信する。			
	P T A活動の活性化	P T A総会、学年P T A等の充実を図る。			
	交通安全教育の推進	警察、その他関係機関と連携し、交通安全講話やバイク実技講習会を実施するとともに、日常から交通安全指導に努める。 また、自転車乗車マナー指導（街頭指導）を行う。			
教育の働き方に関する観点から意識改革を図るとともに、全職員が一致協力して取り組む学校運営を推進する。	学校業務の見直しや効率化	校務企画会議等を通じて、部、学年、委員会等の業務を見直し、業務時間の短縮や効率化に向けた検討を推進する。			
	在校時間の管理及び健康管理	出退校簿を活用し在校時間の把握に努めるとともに、面談等を通じて健康状態の把握や相談を実施する。			
	共通理解と協力体制の推進	部、学年、委員会の連携を密にし、生徒の状況や本校の課題について、職員全員の共通理解を図る。			
		各行事や学習指導、生徒指導、進路指導等について、職員全体の協力体制を推進する。			
情報機器の操作技術向上	情報機器の操作技術向上のため、職員研修を行う。				
成果				総合評価	